

応募用紙の記入例

- 応募用紙の記入例は、あくまで「参考」であり、応募される皆様方の自由な表現を最大限に尊重します
- 別紙「注意事項」と合わせて参照ください
- この記入例は、第1回グッドライフアワード環境大臣賞を受賞した「三陸ボランティアダイバーズ」様の協力を得て、その取組事例を参考として、事務局が独自に作成しています

取組名称	地域の漁師と共に新たな町の魅力を創造する『グッドライフなソーシャルダイバーズ』				
応募取組主体名称	NPO法人 陸前高田ソーシャルダイバーズ	活動地域	岩手県など	活動年数	12年目
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / その他 *ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください）				
テーマの種別	サステナブルデザイン / 子どもエンパワメント / エシカル / 環境と福祉 / 環境地域ブランディング / ひとつくり / 森里川海 / 環境社会イノベーション / 地球と人への想いやり / SDGsビジネス / その他				



取組の要旨

東日本大震災による津波被害で発生した漁港内や養殖漁場の震災瓦礫の撤去作業に、全国から集まるボランティアダイバーとともに協力。潜水が必要な養殖漁業に協力するプログラムに発展するなど、地域の漁協（漁師さんたち）との新たな信頼関係を構築して活動の幅を広げています。また、地域特産の海の幸を活用した商品開発や、アンテナショップ展開にも、ダイバーたちの「消費者」としての感性を活かして協力しています。

実績の要旨

津波被害の発生直後は、漁港の海底に瓦礫が散乱し、漁船の航行もままならない状態でした。数多くのダイバーが繰り返し潜水してのゴミ回収（瓦礫撤去）に取り組むことで、かつての豊かな漁業が着実に復活しています。また、漁師さんとダイバーの信頼関係の構築によって、ダイバーが参加する新たな漁業のスタイルや、アンテナショップなど新たな商品開発、販売ルート開発も実現してきました。

取組評価の要旨	環境への貢献	海底の瓦礫を撤去することで豊かな海の回復に貢献。海や川の自然環境と共存するダイビングのレジャープログラムを開発しています。
	社会・経済への貢献	特産の海産物を活かした商品開発や、アンテナショップ、地元駅近くでの飲食店開設などを行ってきました。
	地域資源の活用	地域の特産物である養殖ホタテをさらに魅力的な商品として販売する六次産業化に協力。漁師さんたちも元気になりました。
	普及・汎用性	ダイバーと漁師さんの関係構築は全国各地のダイビングスポットにとっても大きな課題。新しい信頼関係の先進事例となればと思います。
	革新・ユニーク性	地元漁師さんへの協力を、レジャーダイバーが楽しんで参加できるプログラムとして定着させたこと。
	継続性	漁師さん（地元漁協）とともに豊かな海を守りながら、さらなる協力関係の拡大が続いています。

展望の要旨

「三陸の海を耕す」取組を広げつつ、家族連れなど多くの方に楽しんでいただけるようなスタディ&アクティビティプログラムの開発に挑戦しています。

■ 応募者情報

応募主体名称（法人名称・団体名称・個人名称など）	
名称	（フリガナ） エヌピーオーハウジン リクゼンタカタ ソーシャルダイバーズ NPO法人 陸前高田ソーシャルダイバーズ
代表者	
氏名	（フリガナ） センスイ イチロウ 潜水 一郎 （肩書） NPO法人 陸前高田ソーシャルダイバーズ 代表理事
住所（主たる事務所等）	
〒XXX-XXXX 岩手県陸前高田市 * * * * *	

■ 連絡先

担当者	
氏名	（フリガナ） センスイ ヨウコ 潜水 洋子 （肩書） NPO法人 陸前高田ソーシャルダイバーズ 事務局長
メールアドレス	y_sensui@++++.jp
電話番号	090-0000-0000

■ 取組の 카테고리 （以下より選択） ※複数可

教育 買物 食事 住居 仕事 交通 旅行 医療福祉 その他
--

■ URL

WEBサイト
www.++++.jp
SNS（Facebook、Twitter、Instagramなど）
【 Facebook 】 www.facebook.com/++++/ 【 Twitter 】 twitter.com/++++/ 【 Instagram 】 www.instagram.com/++++/

■ メッセージ動画（任意）

YouTube URL
https://youtu.be/C7EL0Cg_nps

応募主体のプロフィールについて、1枚で、自由に記述してください。

情報項目例：①概要情報、②沿革（取組を始めるに至った背景やきっかけ）、③受賞歴、④その他など



【活動の原点】

代表理事である潜水はダイビングインストラクターとして世界の海を飛び回る一方で、郷里である岩手県陸前高田で鮭の遡上を河口域などで観察する「サーモンダイビング」プログラムを考案。地元でのダイビングガイドをスタートしました。

2011年3月、東日本大震災が発生。潜水は渡航先のタイから急遽帰国して「サーモン義援金」を開設。地元漁協から海中の震災瓦礫問題を聞き、「陸前高田ソーシャルダイバーズ」を結成。全国のダイバーに呼びかけて、瓦礫撤去への協力活動をスタートしました。

【団体概要】

2011年3月設立。同年7月にNPO法人としての認定を受ける。活動のスタートとともに、地元漁協と連携して瓦礫撤去作業に協力。2011年の1年間だけで計10回、のべ311名のダイバーが参加して、漁港内の安全確保や環境回復に貢献しました。その後、地元漁師さんたちとの信頼関係が構築されて、さまざまに協力の幅を広げながら地域活性化や、漁業や地域の自然環境保全についての理解を広げ、地域おこしに貢献する活動へのチャレンジを続けています。

【受賞歴】

- 「ソーシャルイノベーションアワード」最優秀賞受賞（2014年）
- 「日本復興ベストプラクティス大賞18」大賞（2018年）

取組内容について、3枚以内で、自由に記述してください。現場の様子が伝わる写真等の活用を歓迎します。



●ボランティアダイビング

海底の震災瓦礫撤去に始まり、最近では養殖漁業に必要な潜水作業などについて、ボランティア参加のダイバーを適材適所に配置します。

XX
XX



●漁業理解促進プログラム

プログラム参加者と地元の漁師さんとのコミュニケーションの場を創出し、地域の漁業や自然に関して理解を深めるスタディプログラムを提供しています。

XX
XX



●特産品商品開発など

地元漁業の特産品などを活用して魅力的な六次産業アイテムの開発や、イベントなどにおける出店などにボランティアの力を集めて協力しています。また、活動拠点に近い三陸鉄道「恋し浜」駅に隣接して、海を見下ろしながら特産品であるホタテのBBQなどを楽しめる『恋し浜ホタテデッキ』を、地元漁協の有志と協力して開設。

取組実績について、3枚以内で、自由に記述してください。現場の様子が伝わる写真等の活用を歓迎します。

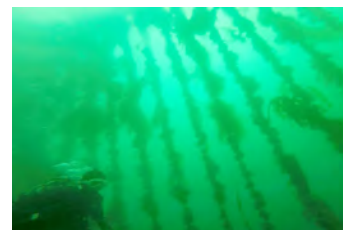
●海底瓦礫撤去

2011年の活動スタートから2019年末までの**9年間**で、瓦礫撤去を目的としたボランティアダイビングの実施回数は**58回**、のべ参加人数は**3328人**となっています。



●地元漁協（漁師さん）との協業推進

活動を通じて醸成された地元漁師さんたちとの信頼関係を軸に、養殖漁業支援や、定期的なコミュニケーションの場の創出などが実現しています。



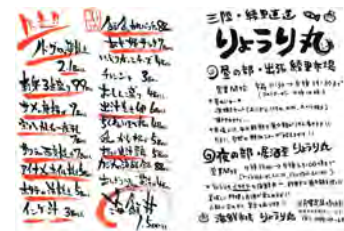
●恋し浜ホタテデッキの創設と開業

地元漁業との協力のもと、特産品をより多くの方に提供するための空間として『恋し浜ホタテデッキ』をほぼ手作りで創設して開業。その運営に関わっています。店舗の空間は駅前ギャラリーとしても活用し、観光客はもとより地元の方々の交流の場ともなっています。



●地元漁協のアンテナショップをオープン

養殖ホタテをはじめとする地元漁協の海の幸を購入し、またその料理を味わえる食堂を兼ねたアンテナショップを、岩手県花巻市内に開設しました。当団体と地元漁協の信頼関係構築によって実現したプロジェクトです。



取組の評価について、「①環境面への貢献、②社会・経済面への貢献、③地域資源の活用、④普及・汎用性、⑤革新・ユニーク性、⑥継続性」の観点から、1枚で、自由に記述してください。



①環境面への貢献

海底瓦礫を撤去して豊かで安全な漁場を回復してきました

④普及・汎用性

ダイバーと漁師さんの信頼関係を全国に広げたい！



②社会・経済面への貢献

漁師さんとの信頼関係を構築し、特産品を活かした町おこしに協力。瓦礫が減った最近では「三陸の海を耕す」をキーワードに、養殖漁業にダイバーが協力するプログラム開発と実践を進めています。



⑤革新・ユニーク性

レジャーであるダイビングを、地域活性化へのアクションとして、多彩なプログラムを展開しています。



③地域資源の活用

特産ホタテの美味しさを広める工夫をしています。

⑥継続性

地元漁師さんと三陸の豊かな海を耕す取組を続けます！



今後の展望について、1枚で、自由に記述してください。

三陸の海を耕す！ ～xx年後にxxを実現する～

10年近い活動によって、漁港や沿岸漁場の震災瓦礫はかなり少なくなってきています。

このソーシャルダイバーズの活動で得られた最大の財産は、地元の漁師さんたちとの友情と信頼関係です。そして、漁業のためにダイバーが協力できることがたくさんあることも知りました。

今後は「三陸の海を耕す」をキーワードとして、養殖漁業への協力や特産品を活かした商品開発や販路拡大といった取組にもチャレンジを続けていく計画です。

XXXX年～XXXX年：XX

XXXX年～XXXX年：XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

XXXX年～XXXX年：XX



■ **グッドライフアワードを最初に知ったきっかけを教えてください。**（以下より選択）※複数可

- ☒ Facebook

(a) グッドライフアワードFacebookページ
b. INSPIRE Facebookページ
c. 友達からのシェア記事
d. その他 ()

☐ Twitter

☐ メールマガジン

a. BBT
b. オルタナ
c. その他 ()

☐ WEB検索 (検索ワード)

☐ イベント (イベント名称)

☐ ポスター (設置場所)

☐ チラシ (設置場所)

☐ 口コミ

a. 実行委員および関係者からの口コミ
b. 過去の受賞者からの口コミ
c. 知人等からの口コミ